

令和5年度 道徳教育 全体計画

学校 番号	62	松川	高等学校	全日制	課程	普通	科
----------	----	----	------	-----	----	----	---

学校教育目標	
(1) 一人一人の生徒を尊重する教育の実践 (2) いじめや体罰のない安心・安全な学校生活の保障 (3) 主体的な学習態度の育成 (4) 個性を生かす進路指導の充実 (5) 情操豊かな徳性と自律の精神の養成 (6) 心身の鍛錬と質実剛健の気風の育成 (7) 地域を愛し、地域に学び、地域に尽くす心の育成 (8) 創造の意欲に燃える新たな良き校風の樹立	
重点目標	
① 生徒が個人として尊重される、安心・安全で活力ある学校生活を保障する。 ② 基礎学力の定着と、探究の学力の伸長を図る授業づくりをすすめる。 ③ 生徒の個性と能力を伸長させるキャリア教育と進路指導を組織的に実践する。 ④ 生徒の主体的な活動を支え、自己肯定感を高め、生きる力を育む。 ⑤ 地域に開かれた学校づくりを進め、地域社会に貢献できる生徒を育成する。	

道徳教育の重点目標	
1 本校生としての自覚を持ち、学校における諸活動を通して、自律的・主体的な行動力を身に付ける。 2 他者と協働する活動を通して、集団の一員として、よりよい社会の創造に貢献できる資質・能力を養う。 3 自他の生命を尊重する態度を涵養し、一人一人の在り方生き方を尊重する高い道徳性を育成する。 4 すべての生徒が安心して学校生活を営むことができる環境をつくり、特にいじめは絶対に許さないという心を育てる。	

学年	目標	キャリア教育	ホームルーム活動	生徒会活動・部活動等	各教科	
1年	学校内外での諸活動を通して、自律的な行動に努め、人間としてよりよく生きていくための基本になる態度を養い、資質・能力を高める。	基礎的・汎用的能力の育成からキャリア意識を高める活動に取り組む。 ○企業・学校見学 ○キャリアガイダンス ○ソーシャル・スキル・トレーニング ○エリア選択	仲間とともに協力し合う活動の中で、他者と良好な人間関係を構築するとともに、自ら進んで行動する態度を身に付ける。 ○文化祭クラス発表 ○SNSの正しい利用法について ○人権学習（いじめのない学校生活のために）	より自律的な行動に努め、集団の活動がよりよいものとなるよう努力する態度を養う。 ○部活動における望ましい人間関係の在り方について ○文化祭係活動	国語	言葉による見方・考え方を働かせ、他者との関わり合いの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養い、道徳的心情や判断力を育む。
2年	主体的に行動する態度を養い、人間としての在り方や生き方についての自覚を高めることで、よりよい社会の創造に係る一員として、他者と協働する態度と行動力を身に付ける。	将来を展望し、自ら進路を切り拓くために、より具体的な進路目標を立て、実現に向けた学びに取り組む。 ○進路探究 ○課題研究 ○各種職業体験 ○各種学校見学	校内における諸活動の中心である自覚を持ち、他者の存在を尊重し、より良い集団づくりに向けて主体的に行動する。 ○文化祭クラス発表 ○平和学習（研修旅行事前学習） ○人権学習（多文化共生社会の実現に向けて）	校内組織における中心的存在として主体的に行動し、目標の実現に向けて他者と協働する自主的かつ実践的な態度を身に付ける。 ○部活動内で行われる諸活動 ○文化祭係活動 ○生徒会の運営	地理歴史	社会との関わりを意識して課題を追究することによって、社会の在り方や人間としての生き方について選択や判断する力を育む。
3年	社会の諸課題に対して主体的に解決していくこととする資質・能力を育成し、全ての人が尊重される社会の実現に係る道徳的実践意欲と態度を涵養する。	よりよい社会を構成する一人としての自覚を持ち、互いを尊重し合い、多様な進路希望実現のために学び合う態度を養う。 ○進路探究 ○課題研究	社会の構成員としての自覚を持ち、学校や地域社会の諸課題を主体的・意欲的に解決していく態度を養う。 ○文化祭クラス発表 ○高校卒業後の在り方について ○人権学習（社会生活の中の権利と責任）	本校生としてのみならず、社会を構成する一人としての自覚に基づき、すべての人が尊重される社会の実現に向けた活動に取り組む。 ○生徒会の運営 ○文化祭の運営 ○ボランティア活動	公民	持続可能な社会づくりの観点から地球規模の諸問題や地域課題を解決しようとする態度を育む。
					数学	数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、知的好奇心や豊かな感性、粘り強く考える態度を含め、創造性の基礎を養う。
					理科	自然の事物・現象を探究する活動を通して、道徳的判断力や真理を大切にしようとする態度を育成する。
					保健体育	体育や保健の見方・考え方を働かせ、学習過程を通して、粘り強くやり遂げる心や一人一人の違いを大切にすることを養う。
					芸術	芸術における見方・考え方を働かせ、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。
					外国語	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的・自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
					家庭	生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考える態度を育成する。
					情報	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、情報社会で適正な活動を行うための基になる考え方や態度を身に付ける。
					総合的な探究の時間	探究の見方・考え方を働かせ、主体的・協働的な取組をとおして、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現する態度を養う。

家庭・地域との連携	・校内の諸活動について、地域に開かれた学校として、地域社会との連携を深めながら生徒が主体的に社会に貢献しようとする態度を育成する。 ・家庭と連携し、日常生活の中で、生徒が自己を尊重するとともに他者を尊重する心を育て、よりよい社会の構成員としての自覚を高める。
-----------	--